



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE Y'S MEN'S CLUB OF GOTEMBA
CHARTERED 1986.4.7

2025.12
No.472

第1例会：毎月第2木曜日18：30～ 第2例会：毎月第4木曜日18：30～ 会場：YMCA東山荘 TEL：0550-83-1133/FAX:0550-83-1138
〒412-0024静岡県御殿場市東山1052(公財)日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘 URL <http://www.ymcajapan.org/tozanso/>
OFFICE:YMCA TOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 E-MAIL:tozanso@ymcajapan.org

会長：前原 末子

書記：大割 克美

会計：内海 昭美

監事：杉山 將己



国際会長主題 “Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」

アジア地域会長主題 “Act now with faith and love!” 「信念と愛を持って行動しよう！」

東日本区理事主題 「ワイズのらしさ再発見」

富士山部部長主題 「参加して生き活き学ぶ我が奉仕」

御殿場クラブ会長主題 「注「和顔愛語の心でクラブ活動と奉仕を」

御殿場クラブ活動方針

1. 東山荘と共に地域奉仕活動を行う。
2. 会員相互の親睦を図り、信頼関係の構築をなす。
3. 健全なる青少年の為に、YMCAと共に力を注ぐ。
4. DBCを始めとする他クラブとの交流を促進する。
5. EMC増強によるメンバーとクラブの強化を目指す。



2025年12月例会プログラム

司会 若林久美子Y's

1. 開会の言葉 若林久美子Y's
2. 開会点鐘 会長
3. ワイズソング・ワイズの信条 一同
4. 会長挨拶 会長
5. ゲスト・ビジター紹介 会長
6. 聖句について 森田義彦Y's
7. 食前感謝 杉山將己Y's
8. 食事
9. 親睦会（プレゼント交換など）
みんなで歌いましょう～♪
10. 誕生日・結婚祝い 各自
11. スマイル・YMCA基金報告 内海昭美Y's
12. 閉会点鐘 会長

例会報告：大割克美Y's プリテン原稿：佐野恵美Y's

《今月の聖句》

ルカによる福音書 2章10節

天使は言った。「恐れるな。私は、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたの方のために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」



12月結婚記念日おめでとうございます！

自己申告

【11月例会報告】

在籍数	14名	メネット	0名	スマイル報告	20,000
出席者	12名	コメント	0名	スマイル累計	754,070
メンバー	名	ゲスト	0名	YMCA基金	1,810
出席率	71%	ビジター	0名	YMCA累計	259,158
修正出席率	%	出席者		BF活動切手	
		合計	12名		

12月お誕生日おめでとうございます！

12/23 秋田 敬Y's

12/24 若林洋平Y's

パートナー
なし



11月 例会報告

大割克美

11月例会報告

佐野Y'sの司会の中、にこやかな前原会長の高らかな開会点鐘で11月が例会がスタートしました。
会長挨拶は、行かれた京都の紅葉が赤く美しい中に赤く縮まり、葉先が枯色の葉が観られ、今年は秋がなくなったかの様な季節だったとのお話でした。
あっという間の冬支度、衣替えが追いつかない年でした。
聖句は、コリント信徒への手紙12章26節。
Y'sの仲間としてリスペクトしながらも、聞くことが大切さ、仲間を大切にすることの大事さを事例を交えながら、近しい人の悪口を他の人から聞くと腹立たしいと思う心情を森田Y'sからお話していただきました。聖句の話は、毎回背筋が伸び、心が温かくなります。
食前感謝は、内海Y's。
スポーツの秋・芸術の秋・食欲の秋。お昼は「ふくふく」丘みどりの歌謡ショー、夕飯は、「東山荘」と、芸術と食欲とを満喫し、幸せな今日の話でした。
因みに本日のメニューは、①キノコのポタージュ②ポークカツレツ・ミラノ風③サラダ④洋梨の赤ワインのコンポート、ソフトクリーム添え⑤珈琲or紅茶でした。
卓話は、熱海クラブから青木ご夫妻。
海外でのクルーズ船の旅の楽しく愉快なお話、中でも、「安く、時間を掛けて行く」ご夫妻の仲の良さを感じました。今回のドイツへはアブダビ経由で到着までに24時間掛かったそうです。
スライドの中にたくさんの写真を写していただき臨場感のある卓話でした。
帰国後は、早々に空港で焼魚定食。やっぱり日本食が一番と締めくくられました。



ブリテン原稿・これからの生き方

杉山博恵

「急がず生きる」一焦らず比べず自分ペースで、
これは、先日、断捨離書物の整理をしていた時に2023年4月に発行されたPHPの特集「急がず生きる」を見つけ、その中に掲載されていた文章です。

私にとってこの5年間は人生の岐路であり、5年前に家のどこにあったかわからないのですが、「生きる」の額との出会い。この言葉にずいぶん励まされ、この額を暫く自室の壁に掛けて時々ながめていた事を思い出します。そして、今度は前出の本との再会です。これにより、振り返りと今後について考えさせられました。

その本に、
「まわりと比べて焦り、情報に追われ、わかりやすい費用対効果ばかり求める。・・・・・・。
なにかと急かされるような時代ですが、
時にはスピードを落としてみませんか？
そこで初めて気づけることが、きっとあるはずです。」（2023年4月PHPより）
とありました。

私は、今まで一日があっという間に過ぎる程の早さで時間が過ぎていきます。しかし、現在は仕事も一段落して、ワイズ歴も17年目を迎えようとして、今更ですが落ち着いて周囲の方々との付き合いができるようになったような気が致します。そして、自分は今まで下手な生き方だったかもしれないけれども「精一杯頑張った！」自分を褒めます。そして、今後は時の流れを感じながらのゆったりとした時間を過ごそうと思っており、ゆっくりのんびりと「気づき」探しをしようと思います。

皆さまも「気づき」を探してみませんか？

日本語を話す会に参加して

11月9日（日）御殿場市民会館において、御殿場国際協会主催による「第30回日本語で話す会」が開催されました。フィリピン・ブラジルなど多国籍の小学生から高校生、大人の方、計6名が発表者で、ご苦労されていることや、楽しいことなどとても流ちょうな日本語での発表に聞き入ってしまいました。今、時代は世界中の人々との共生が必須です。お互いを理解し合い、友好の場としての発表の場が30回も続いていることがとても素晴らしいと感じ入りました。